

つなぐ未来 つくる未来



ごあいさつ

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第94期事業の内容と決算のご報告をするにあたり、皆様からの日頃のご支援ご愛顧に対して心よりお礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返りますと、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、国内外を問わず経済活動は大幅に制限されることとなりました。コロナ対策として各国の中央銀行が史上最大規模の金融緩和を実施した結果、金融システム崩壊の危機は回避されたものの、「カネ余り」による緩和マネーは株式市場に向かい、日経平均株価は一時3万円台まで急上昇するなど、過熱感が警戒される局面もありました。

金融市場が活況を呈する一方、産業界は宿泊業、運輸業、飲食業といった業種を中心に大きな打撃を受けました。緊急事態宣言が解除された後も新規感染者数は高止まりするなど、完全終息までにはなお時間がかかりそうです。

昨年度の当金庫は、令和元年度に引き続き「収益力の強化」、「地域密着型金融の強化」、「人財活力の向上」、「内部管理態勢等の強化」を重点課題とし、業務推進してまいりました。

貸出金については、コロナ禍で疲弊する地元事業者への資金繰り支援に全力で取り組んだ結果、大幅な増加となりました。預金についても、コロナ関連融資による資金供給や、消費減退分の預金への資金流入で大幅な増加となりました。

資金繰り支援と並行し、コロナ資金支援先を中心に事業者へのヒアリングを強化し、お客様が抱える経営課題の解決に努めました。また、地元企業、大学、自治体等で構成される「大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム」に参画し、「市川学」のWEB開講を通じ地域の歴史や魅力を発信しました。継続実施している「金融キャリア教育」では、地元小中学校・高校・大学等で対面・WEBにて開催しました。コロナ禍において外部機関との接触が制限される中、地域に根差した取組に努めてまいりました。

その結果、第94期決算につきましては、預金残高は前期末比394億円増加の5,755億円、貸出金残高は前期末比316億円増加の3,616億円となりました。

また、金融機関の本業の収益力を示す業務純益は12億円を計上し、経常利益は13億円、当期純利益は10億円をそれぞれ計上いたしました。

また、自己資本比率につきましては、9.00%と前期より0.31%上昇し、国内基準である4%を引き続き大幅に上回り、高い健全性を維持しております。

令和3年度より、新たな3か年計画として「東京ベイ信用金庫第6次中期経営計画『未来』」がスタートしました。『未来』では、2つの基本方針を掲げ、実践することとしました。

まず、「I Face to Faceへの『原点回帰』」では、信用金庫のコア業務である融資渉外業務に人財を優先的に配分し、担当者の育成とともに課題解決力および提案力の強化を図ることで、「原点回帰」を体現してまいります。

次に、「II 内部管理態勢強化による『将来にわたる健全性』の確保」では、マネー・ローンダリング対応、サイバーセキュリティなど、日々高度化する経営課題への対応に加え、頻発する自然災害に対応できる店舗づくりを進め、高い健全性の確保に努めてまいります。

当金庫は昨年12月、東京ベイ信用金庫「SDGs宣言」を公表いたしました。同宣言で掲げた「人のことを一緒に考えて行動する」「地域のことを一緒に考えて行動する」「環境のことを一緒に考えて行動する」にふさわしい金庫となるべく、お客様の声にさらに耳を傾け、お客様本位の業務運営に徹し、地域金融機関としての使命を果たしてまいります。

皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

理事長

酒井正平



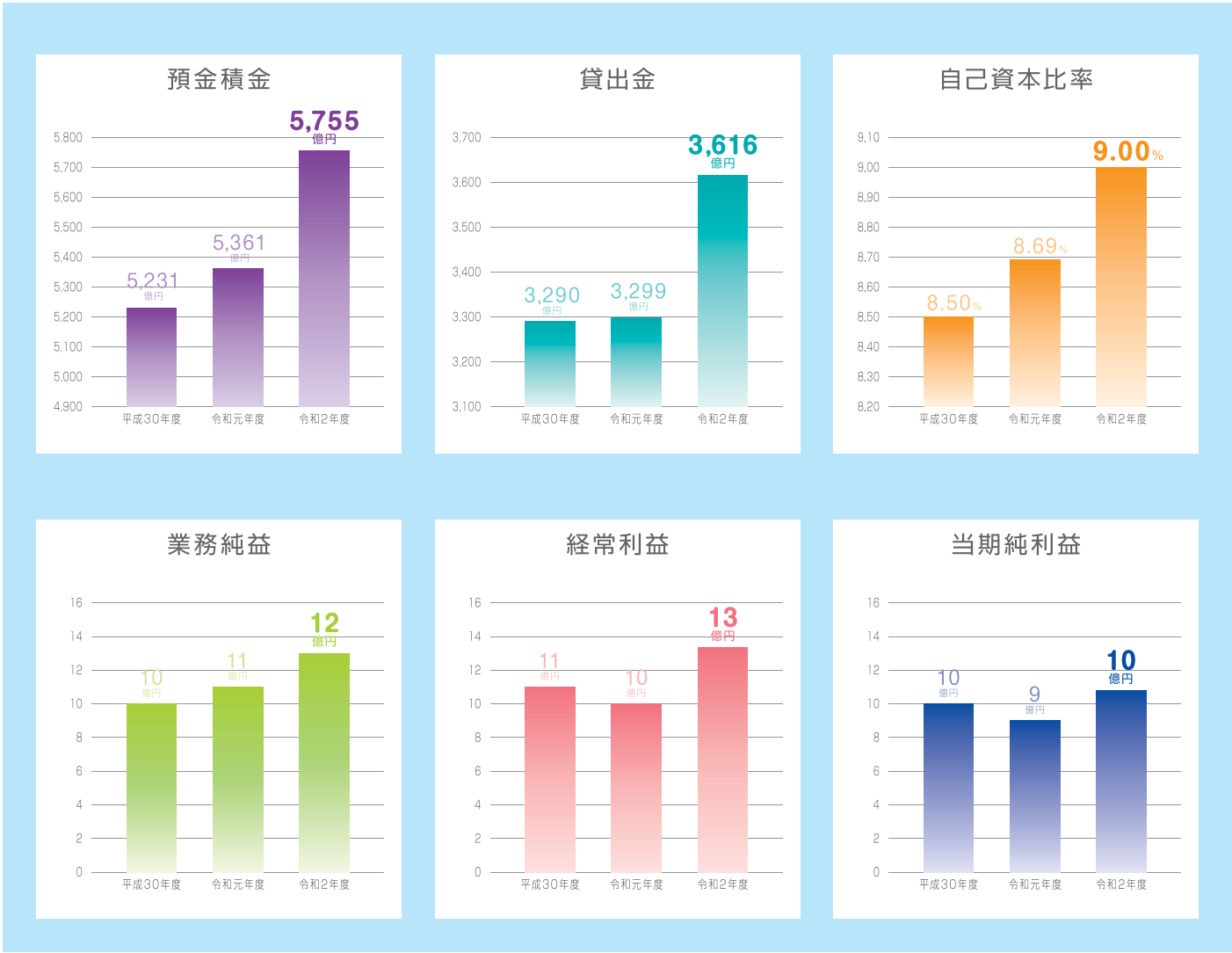
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大で地域経済が冷え込む中、地元事業者への資金繰り支援に全力で取り組みました。その結果、残高は預金積金・貸出金ともに過去最高水準となりました。

コロナ禍が長期化する中、効率経営に努め収益力の向上を図るとともに、健全経営に努め自己資本比率の向上を図りました。

主要な経営指標3ヵ年推移

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
預金積金残高	523,192	536,131	575,546
貸出金残高	329,015	329,932	361,611
有価証券残高	36,917	36,094	46,750
純資産額	25,159	25,082	25,974
純資産額（注）	554,742	580,771	646,089
経常収益	7,567	7,754	7,657
業務純益	1,080	1,142	1,297
経常利益	1,145	1,025	1,334
当期純利益	1,068	950	1,077
単体自己資本比率	8.50%	8.69%	9.00%

（注）残高・計数は期末日現在のものであり、総資産額には債務保証見返は含んでおりません。



東京ベイ信用金庫と地域社会

～地域とともに、これからも、そしていつまでも～

当金庫の地域経済活性化への取組について

当金庫は、東京ベイエリアを事業区域として、地元中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念とする相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元中小企業者や住民との強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの行事を中止せざるを得ない状況となりましたが、今後も継続的に地域経済の活性化支援活動を行ってまいります。



地域の活性化や金融教育、文化的・社会的貢献に関する取組

当金庫は、地域貢献活動の一環として「金融キャリア教育」を小中学校、高校、大学、社会人に関係機関等と協働で継続的に実施しております。また、地域経済活性化策としてビジネスマッチング等にも積極的に取り組んでおります。

- 地域との協働による金融キャリア教育の実施**

 - 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム「市川学」
 - 千葉県商科大学「サービス企業セミナー」
 - 千葉県立市川昂高校「金融キャリア教育」（関東財務局千葉財務事務所との協働実施）
 - 東海大学付属浦安高校中等部「金融・防犯・防災教育」（関東財務局千葉財務事務所・千葉県警生活安全部・浦安市危機管理監との協働講義）
 - 公立小・中学校・私立中学校における職業体験学習実施

文化的・社会的貢献活動の実施

 - 「相続セミナー」「相続相談会」（日本弁護士連合会との共催実施）
 - 市川市社会福祉協議会を通じ、社会福祉作業所の約400製品を役員等訪問時に配布支援

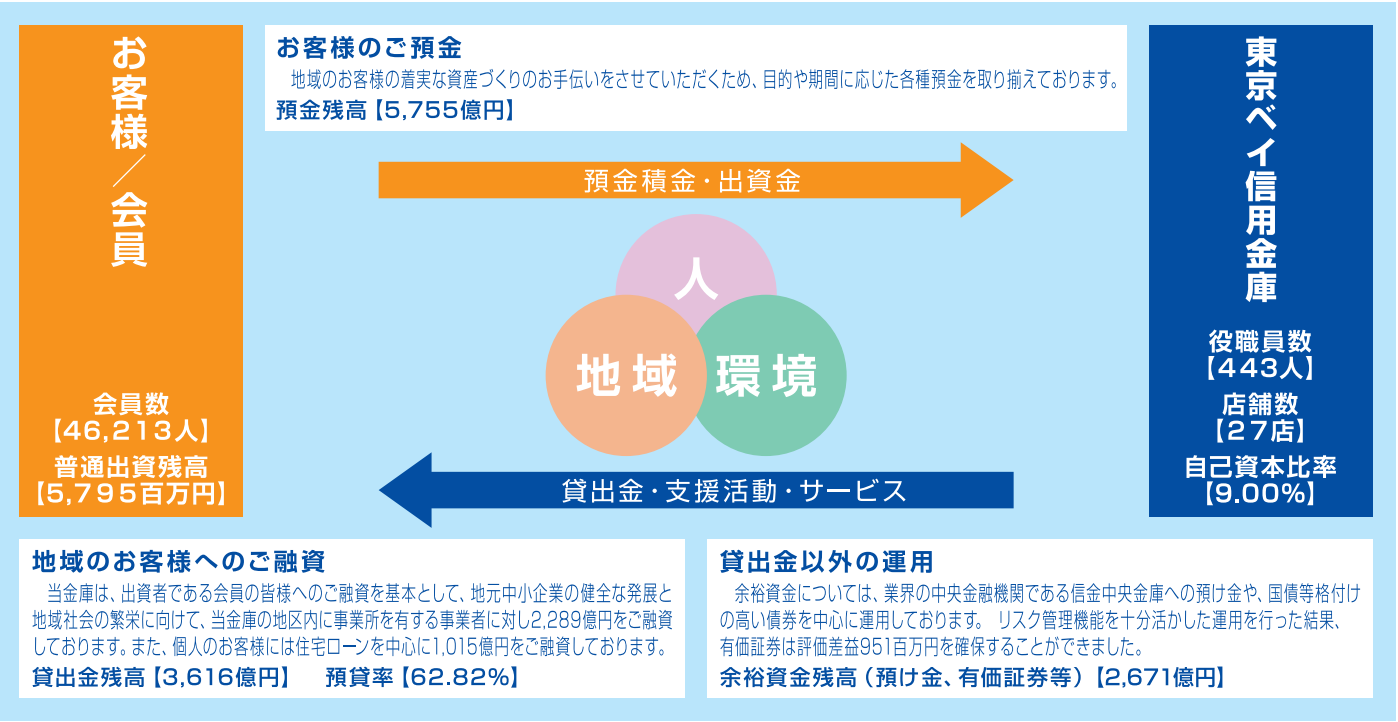
募金・献血活動

 - 「信用金庫の日」キャンペーン参加を通じた募金・献血活動
- ビジネスマッチング**

 - 県内5信金合同共催「2020食のカタログ商談 in CHIBA」開催
 - 「2020よい仕事おこしフェア」等のビジネスマッチングへ参加
 - 「2020食のカタログ商談 in CHIBA」のブラッシュアップセミナー
 - 「千葉県よろず支援拠点」動画セミナー共催
 - 各商工会議所連携「おもてなしギフトショップ」開店支援

地方公共団体・商工会議所との連携

 - 市川市内5大学から成る「大学コンソーシアム市川」と市川市、市川商工会議所が連携包括協定を締結する「大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム」と包括協定締結
 - 千葉労働局と金融機関の連携強化に向けた包括連携協定締結
 - 江戸川区しんきん協議会と江戸川区の中小企業支援に関する連携協定締結

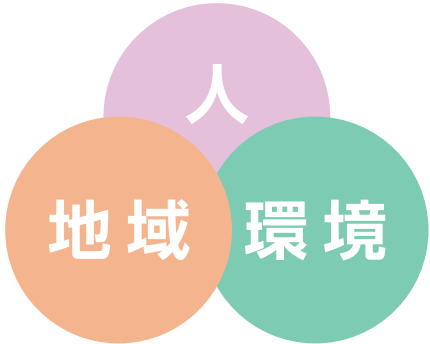


東京ベイ信用金庫「SDGs宣言」

当金庫は、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に賛同し、持続可能な社会の実現に貢献するため、令和2年12月、東京ベイ信用金庫「SDGs宣言」を公表いたしました。

当金庫では、「人」「地域」「環境」に着目し、取引先企業、地方公共団体、大学等との協働による地域課題への取組など、「一緒に考えて行動する」ことで、持続可能な地域社会の実現を目指します。

《一緒に考えて行動する》



東京ベイ信用金庫は相互扶助の理念に則り、「人」・「地域」・「環境」の3つを重要なテーマとして、持続可能な社会の実現に向け、一緒に考えて行動してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナーシップで目標を達成しよう

【SDGs「持続可能な開発目標」とは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年までの国際目標。
誰一人取り残さない世界の実現に向けた「17の目標」と「169のターゲット」から構成されています。

東京ベイ信用金庫の取組

1. 人のことを一緒に考えて行動する

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

8 働きがいも経済成長も

10 人や国の不平等をなくそう

16 平和と公正をすべての人に

- 金融キャリア教育の実施
- インターンシップの実施
- 職場体験の実施
- 女性の活躍推進
- ワークライフバランスの充実
- 全店にAEDの設置
- 特殊詐欺の撲滅に向けた取組

2. 地域のことを一緒に考えて行動する

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナーシップで目標を達成しよう

- 大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム
- ビジネスマッチング／商談会
- 事業承継・M&A支援

3. 環境のことを一緒に考えて行動する

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

12 つくる責任つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

- 再生可能エネルギー利用計画への資金融資
- クールビズ・ウォームビズの実施
- ESG債への投資
- 環境に配慮した預金商品・融資商品の企画



花いっぱいの街づくりに向け、花の種をお配りしました。

「地域とともに、これからも、そしていつまでも」

東京ベイ信用金庫 夏の定期 みらい

2023年6月1日※～令和3年8月31日※

みらいと一緒に考えて行動します

SDGs宣言

リサイクルコットン ランチトート プレゼント!

期間中の適用金利

1年もの 0.03%

3年もの 0.06%

5年もの 0.09%

夏の定期みらい 好評販売中です！